



# *Corporate Profile 2020*

コーポレートプロフィール

**HORIBA**  
Explore the future



はかれば、わかる。  
「わかる」喜びを、すべての人に。



私たちHORIBAグループは、創業当時から

「はかる」技術で、社会の発展を支えてきました。

「はかる」ことは、人の探究心に寄り添い、「わかる」ことに導く力。

「わかる」ことは、未知なる現象・物質を解き明かし、より良い未来へ歩む力。

今までも、これからも、私たちは持続可能な社会を実現するため、

「はかる」技術を探究することが使命だと考えています。

社会が大きな変化を迎えている今、

私たちは何をめざし、進んでいくのかをお伝えします。



# HORIBAが貢献していく3つのフィールド

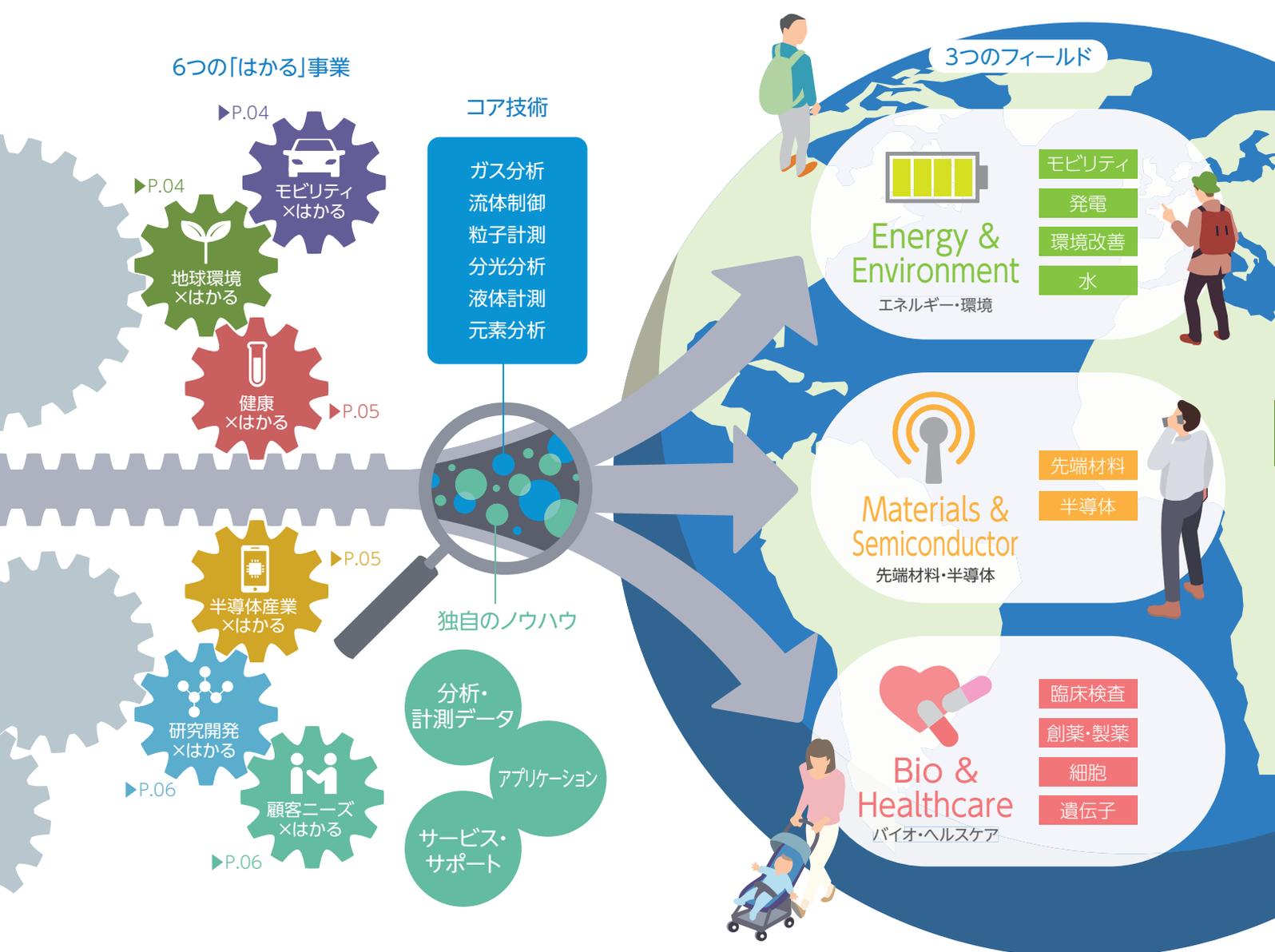
私たちの暮らしを取り巻く環境は大きな変化を迎えています。その中でも、「エネルギー・環境」「先端材料・半導体」「バイオ・ヘルスケア」の3つの領域におけるイノベーションが、安全・安心で持続可能な社会づくりには欠かせません。

安全でグリーンな次世代モビリティ社会への変革と、それを可能にするエネルギーの生産・貯蓄・消費・プロセス全体での効率向上。より快適で便利な暮らしを実現する高度な情報社会に欠かせない半導体の微細化技術や製造工程の技術進化。清潔で安全な水の確保や、感染症の早期診断など臨床検査の普及、再生医療や遺伝子研究など、私たちの健康を守る技術革新。

これらの社会課題を解決するイノベーションに欠かせない「はかる」技術と「わかる」喜び。私たちが長年培ってきた技術とノウハウの提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

## HORIBAの強み

## 将来の貢献領域



# モビリティ × はかる

変わりゆくモビリティとエネルギープロセス。  
次世代のモビリティ社会の実現を可能にする多様なソリューションを提供。



## Automotive Test Systems



自動車業界では世界的な環境規制強化を背景としたさらなるクリーン化や、安全な社会を実現する次世代車両開発など、技術革新が急速に進んでいます。

HORIBAは、高い市場シェアを誇る排ガス測定装置や、燃料電池・バッテリー評価技術、最先端の車両エンジニアリング技術で、動力源から完成車両までトータルなエネルギー効率の向上やコネクテッド・自動運転車両開発に対するソリューションを提供しています。



エンジン排ガス測定装置

エンジン排ガス中の各成分を測定し、各国排ガス規制に対応。



燃料電池・バッテリー評価装置

単体セルからシステムまで、性能評価試験に幅広く対応。



車両開発・実車評価エンジニアリング

充実したエンジニアリングや試験設備で車両開発をサポート。

# 地球環境 × はかる

地球環境保全と人々の安全・安心・健康を支える技術イノベーション。  
あらゆる産業のガス計測や水質監視で持続可能な社会の実現に貢献。



## Process & Environmental



地球環境保全に対する意識は世界規模で高まっています。新興国では環境規制が強化され、先進国では工場や発電所などでの革新的なエネルギー効率向上が注目されています。HORIBAは、地球環境保全とともに人々の安全・安心・健康を支えるため、大気・水質などの分析・計測機器をグローバルに提供しています。また、産業プロセスにおけるガス・水質モニタリングで、安全や生産性向上に貢献しています。



煙道排ガス分析装置

火力発電所や焼却炉などの排ガスに含まれる複数の成分を同時に連続測定。



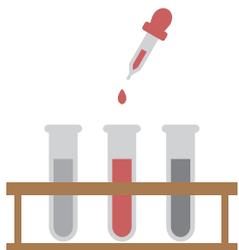
PM2.5自動成分分析装置

浮遊粒子状物質の質量濃度と成分分析を同時に測定。大気監視と汚染源推定に貢献。



工業用水質分析計

上水から排水まで、あらゆる水処理プロセスで水質を連続監視。



# 健康 × はかる

感染症の早期発見や健康状態の迅速な判定で安心を。  
検体検査機器の提供を通じて人々の健康な生活を支える。

Medical



新興国・途上国を中心とした経済成長、世界的な人口増加や高齢化が進む中で、ライフサイエンス・ヘルスケア市場は急速に拡大しています。

HORIBAは、医療機関で使われる臨床検体検査機器やシステムを40年以上にわたり提供してきました。グローバルなネットワークを通じて「はかる」技術で世界の医療現場を支え、人々の健康で安全・安心な生活を支えています。



遠心方式血液分析装置

微量の血液で糖尿病や感染症の診断をサポート。



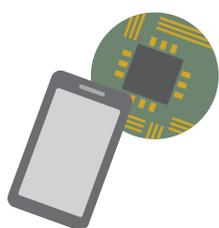
自動血球計数CRP測定装置

クリニックなどの臨床現場で、各種疾患や感染症の早期診断をサポート。



自動血球計数装置

各種疾患の早期診断サポートなど、日常検査を効率化。



# 半導体産業 × はかる

高度な情報社会実現に欠かせない半導体製造の技術革新。  
半導体製造の歩留まり向上や微細化技術に流体制御や計測技術で貢献。

Semiconductor



自動運転や人工知能(AI)、IoTの進展により、情報社会の高度化は加速度を増して発展しています。その基盤を支える半導体の開発現場では、微細化や多層化といった技術革新が進んでいます。

HORIBAは、半導体製造プロセスにおける流体制御技術や多様なモニタリング装置を提供し、より高性能な半導体の安定生産に貢献しています。



マスフローコントローラー

半導体の成膜に必要な流体の質量流量を計測し、流量を精密に制御。



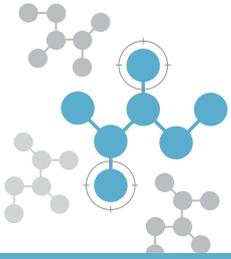
薬液濃度モニター

半導体製造プロセスの洗浄工程で、洗浄薬液濃度を監視。



レティクル/マスク異物検査装置

レティクル/マスク上の異物検査で、半導体の歩留まり向上に貢献。



## 研究開発 × はかる

世界中の研究者・技術者に寄り添う分析技術。

最先端材料・ライフサイエンスなどあらゆる分野の研究開発から品質管理まで幅広く貢献。

Scientific

「はかる」技術は、世界中の研究者・技術者の探究心とともにイノベーションを起こしてきました。

HORIBAは、液体のpH計測から出発し、赤外線によるガス分析、X線を用いた固体分析へと対象を広げながら、多様なコア技術を育て様々な分析・計測機器を誕生させてきました。これらは、最先端材料やライフサイエンスなどの研究から、異物検査や不良解析などの品質管理まで幅広く活用されています。



AFM(原子間力顕微鏡)ラマン

AFMとラマン分光技術を融合し、ナノスケールの組成評価・結晶性評価を実現。



pH/水質分析計

研究室の実験から製薬、食品の開発・品質管理など幅広く普及。



ナノ粒子径分布・濃度測定装置

ナノ粒子を簡単に可視化でき、ライフサイエンスをはじめ、様々な分野で活躍。



## 顧客ニーズ × はかる

「はかる」と「わかる」をつなぐサービス。

機器販売とお客様のあらゆる課題を解決する高付加価値サービスを融合。

Service

HORIBAは、長く蓄積してきた分析・計測ノウハウを活用し、製品に最高のパフォーマンスを発揮させるためのフィールドサービスはもちろん、受託分析や共同開発、校正事業や先端の機器のテスト事業など、お客様のあらゆる課題を全方位で解決する高付加価値なサポートを提供します。お客様の試験設備全般の効率化のため、HORIBAが計測データを解析し、お客様に課題解決方法を提供する分析技術のコンサルティングなど、新たな価値の創造もめざしています。



ONE STOP SERVICEで、世界中の分析・計測ニーズに対応。

# 企業文化

社是

## 「おもしろおかしく」

この社是には、常に「やりがい」をもって仕事に取り組むことで、人生の一番良い時期を過ごす「会社での日常」を自らの力で「おもしろおかしい」ものにして、健全で実り多い人生にして欲しいという前向きな願いが込められています。英語では「Joy and Fun」と訳されて、世界中のホリバリアン\*に共有されています。

※HORIBAでは社員のことを「ホリバリアン」と呼び、大切な財産と考え、「人財」と表現しています。

現場と経営をつなぐ 意識と行動の変革

## ブラックジャックプロジェクト

「従業員の意識と行動の変革」を目的として、1997年にブラックジャックプロジェクトを開始しました。2006年には海外グループ会社にも活動を展開。2007年からは各国の優れた活動の中から最優秀賞を決めるワールドカップを毎年開催し、経営陣へ成果発表する場を設けています。テーマは業務効率の改善やコスト削減に加え、人財育成や組織力強化など多岐にわたり、従業員自らが改革に取り組む企業文化形成の礎となっています。



ワールドカップでは、各国の代表がプレゼンテーション

Omoshiro-okashiku  
Joy and Fun



働きがいと働きやすさを同時に追求するダイバーシティの推進

## ステンドグラスプロジェクト

「性別・年齢・国籍・障がいなどを乗り越えて多様な個性・才能が輝き、新たな価値を創造し続けることで強いHORIBAを実現する」をミッションに掲げ、2014年にプロジェクトを開始しました。働き方やキャリアを考えるワークショップや他社交流による意識改革、勤務時間と場所の柔軟性を高める制度導入などに取り組んでいます。働きがいと働きやすさを追求し、多様な人財が活躍することで、生産性と企業競争力の向上をめざしています。

※色も形も大きさも違うガラスが集まりひとつの美しい絵となるステンドグラスを活動の象徴としています。



長期的なキャリアを考えるStage up研修などを実施

ウェブサイトでは、「ステンドグラスプロジェクト」のめざす姿や、ダイバーシティに関する具体的な推進活動などをご紹介します。



# 社会的価値の創出

HORIBAは「エネルギー・健康・環境・安全」をキーワードに企業活動を推進し、「快適で幸福な社会」の実現に貢献します。

私たちは事業成長を通じてどのように社会に活力をもたらすことができるかを常に考え、行動することが社会的責任であると考えています。

多くの社会課題の解決は「はかる」ことから始まります。HORIBAは様々な分析・計測技術を駆使して、社会課題解決の一助となる製品をお客様に提供しています。お客様の真のパートナーとして質の高い「はかる」技術を提供することで、HORIBA自身が成長していく。これが社会的価値の創出、社会への貢献につながると信じています。

HORIBAは様々な社会課題と向き合い、経済的価値・社会的価値の創出を通じて、SDGs\*の達成に貢献します。



\*SDGs: 2015年の国連総会で全会一致で採択された「持続可能な開発目標」。

## 持続可能な社会づくりへの貢献

### 子どもたちに「はかる」楽しさを

「未来を担う子どもたちに、はかることの大切さや科学のおもしろさを伝えたい」。そのおmoiから、HORIBAは学校やイベント会場に出向き、製品を用いた体験型授業を実施しています。身近なものを「はかる」体験を通して子どもたちがモノづくりや科学に興味を持ってくれること、持続可能な未来を担う人財として活躍することを期待しています。



小学校での環境教育・出前授業

## 社会からの評価

独自の企業文化から生まれた様々な取り組みは、社会からも評価をいただいています。経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」「なでしこ銘柄」の双方に、2年連続で選ばれました。(2019年・2020年)

### 健康経営銘柄

「健康経営」における組織体制、ヘルスアップチャレンジ制度、給食委員会などさまざまな取り組みを行っていることが評価されました。



### なでしこ銘柄

「ステンドグラスプロジェクト」を中心としたダイバーシティを推進する取り組みが評価されました。



### WE SUPPORT



国際イニシアティブへの署名  
一 国連グローバル・コンパクトー

堀場製作所では国連グローバル・コンパクトの取り組みに賛同し、2012年に経営トップによる署名を行っています。

# 世界に広がるネットワーク

HORIBAは1970年の米国での合併会社設立を機に本格的な海外展開をスタートさせました。その後も積極的なM&Aを通じて、アジア・米州・欧州に数多くの開発・生産拠点などのネットワークを拡げています。現在のグループ会社数は49社(国内4社)、海外売上比率は70%近くに達し、海外で働く従業員は62%におよびます。

## 主な開発・生産拠点

### Japan 日本



堀場製作所 本社



堀場製作所 びわこ工場  
HORIBA BIWAKO E-HARBOR



堀場エスタック 本社  
HORIBA最先端技術センター



堀場アドバンステクノ 本社



堀場テクノサービス 本社  
(新拠点2020年完成予定)



ホリバMIRA社



ホリバ・フューエルコン社



ホリバ・インド社  
テクニカルセンター



ホリバニュージャージー  
オプティカルスペクトロスコピーセンター



ホリバABX社



ホリバ・フランス社  
ホリバヨーロッパリサーチセンター



堀場儀器(上海)有限公司  
(新拠点2021年完成予定)



ホリバ・インストルメンツ社

# 沿革



堀場エステック 阿蘇工場



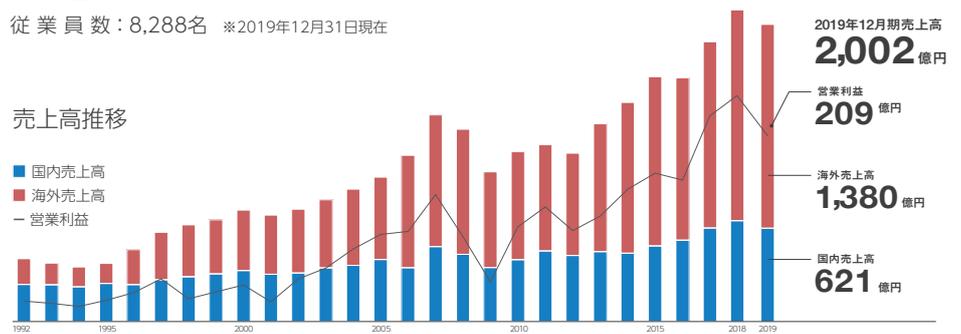
堀場エステック 福知山テクノロジーセンター

|       |                                      |       |                               |       |                                   |
|-------|--------------------------------------|-------|-------------------------------|-------|-----------------------------------|
| 1945年 | 堀場雅夫が堀場無線研究所を創業                      | 1975年 | 株式会社 コス設立 (現 株式会社 堀場アドバンステクノ) | 2013年 | HORIBA最先端技術センターを堀場エステック本社拠点に開設    |
| 1950年 | 国産初のガラス電極式pHメーター完成                   |       | 米国EPA(環境保護庁)へ自動車排ガス測定システムを納入  |       | 研究専用施設堀場エステック「京都福知山テクノロジーセンター」竣工  |
| 1953年 | 株式会社 堀場製作所を設立                        | 1987年 | 血球計数装置メーカー ABX社(仏)と提携         | 2015年 | MIRA社(英)買収 (現 ホリバMIRA社)           |
| 1964年 | 自動車排ガス測定装置の世界ブランド「IMEXA」誕生           | 1996年 | ABX社(仏)買収 (現 ホリバABX社)         | 2016年 | 開発・生産拠点「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」稼働 |
| 1970年 | 合併会社 オルソン・ホリバ社(米)設立 海外展開の本格スタート      | 1997年 | ジヨバンイボン社(仏)買収 (現 ホリバ・フランス社)   | 2018年 | FuelCon社(独)買収 (現 ホリバ・フェルコン社) 設立   |
| 1974年 | 株式会社 スタンダードテクノロジー設立 (現 株式会社 堀場エステック) | 2000年 | 株式会社 堀場テクノサービス 設立             | 2019年 | ジヨバンイボン社(現 ホリバ・フランス社) 創業200周年     |
|       |                                      | 2005年 | カール・シエンク社(独)の自動車計測事業を買収       |       |                                   |

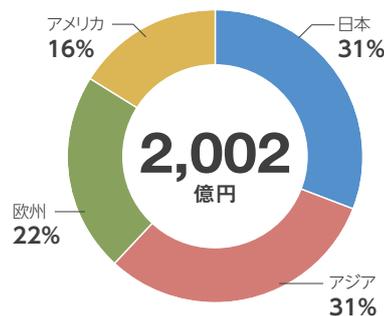
# 概要

社 名：株式会社 堀場製作所  
 本 社：〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地  
 代表者：代表取締役会長兼グループCEO 堀場 厚  
 設 立：1953年1月26日  
 資 本 金：120億1千1百万円 ※2019年12月31日現在  
 連結売上高：2,002億4千1百万円 ※2019年12月期  
 従 業 員 数：8,288名 ※2019年12月31日現在

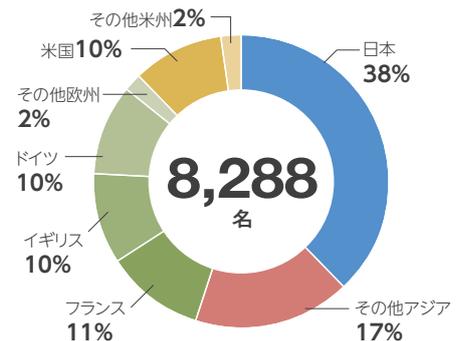
売上高推移



地域別(仕向地別)売上高比率



地域別従業員比率



※2019年12月31日現在



ホリバ・ブラジル社



ホリバ・インストルメンツ社 ヒューストンオフィス

## Address

### 株式会社 堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2  
Tel: 075-313-8121  
<https://www.horiba.com/jp/>



### 株式会社 堀場アドバンスドテクノ

〒601-8306 京都市南区吉祥院宮の西町31  
Tel : 075-321-7184  
<https://www.horiba.com/jp/horiba-advanced-techno/>



### 株式会社 堀場エステック

〒601-8116 京都市南区上鳥羽鉾立町11-5  
Tel: 075-693-2300  
<https://www.horiba.com/jp/horiba-stec/>



### 株式会社 堀場テクノサービス

〒601-8305 京都市南区吉祥院宮の東町2  
Tel: 075-313-8125  
<https://www.horiba.com/jp/horiba-techno-service/>



HORIBA GLOBAL ウェブサイト  
[https://www.horiba.com/en\\_en/](https://www.horiba.com/en_en/)

